

米連邦運輸省、ソーラーロードウェイ社と研究契約(太陽光発電舗装盤)

掲載日	2009年10月1日
国名	アメリカ
分類	新技術
出典	Inside ITS (インターネット記事)
タイトル	USDOT awards research contract to Solar Roadways

ソーラーロードウェイ社は米連邦運輸省にソーラーロードパネルのプロトタイプを初めて供給する契約を得た。石油由来のアスファルト舗装に代わって駐車場や車線に敷かれる十分な強度を備えたソーラーパネルを同社が供給し、事業所や家庭に太陽光電力が供給される。

ソーラーロードパネルにはLEDが埋め込まれており、夜間通行の安全に寄与するレーンマークを描き出したり、前方迂回路有りといった緊急情報を提供したりする。野生動物の侵入を検知できれば「速度落とせ」といった警告も出せる。冬季の融雪用にヒーターを埋め込むことも可能だ。この特徴有るシステムは堅固で利口で集中制御なしの自己エネルギー完結型インテリジェントハイウェイとなり、化石燃料から除々に脱却することを可能にする。

アスファルト路面をソーラーロードパネルに置き換えることは地球温暖化防止の大きな一歩になる。電気自動車を路側や駐車場で充電できるようになれば実用的な長距離移動手段になる。同社によると米国内のアスファルト路面をすべて置き換えるのに概算で50億枚のソーラーロードパネル(12フィート角)が必要であり、そうすると国内で使用する量の3倍のエネルギーを生産できる。